

県内 Stage2 実施中! 新型コロナウイルス感染症

令和3年5月19日

富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和3年第19週分・5月10日～5月16日)

《インフォメーション》

●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、5月16日時点で683,175例となり、11,508例の死亡が確認されています。全国の新規感染者数(図;折れ線グラフ)は増加に歯止めがかからず、病床のひっ迫が続いています。緊急事態宣言の対象が9都道府県に拡大されました。また、まん延防止等重点措置は、隣県の石川、岐阜を含む10県で実施されています。しかしながら、これらの感染拡大地域における新規感染者数の減少は未だ明らかではありません。

県内では、今週110例の新規感染者が報告され、5月16日時点の累積感染者数は1,532例になりました(図;棒グラフ)。感染者数、感染経路不明者数は共に増加傾向にあります。県内の警戒レベルは引き続きStage2ですが、県内の医療機関の入院者数が増加しています。このため、夜間の飲食店では会話時のマスク着用と2時間以内の利用、カラオケ等、感染リスクの高い行動を徹底して回避すること、不要不急の県境を跨いだ移動の自粛が求められています。

県内のN501Y変異の累積陽性数は348例となり(5月17日時点)、直近の新規陽性者の約6割が変異株(N501Y)による症例です。また、そのうちゲノム解析を行った症例は全て、感染性が従来株より高いとされる英国由来変異株(VOC1)でした。変異株に対しても感染拡大を防ぐための手指消毒やマスク着用、十分な換気、対人距離を保つといった一人一人が取り組むべき感染対策は同じです。これ以上の感染拡大を防ぐため、高い緊張感を持って行動していただくことが重要です。

発熱等の症状で医療機関を受診する際には、電話相談のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691;24時間対応)にご連絡ください。

《全数報告の感染症》

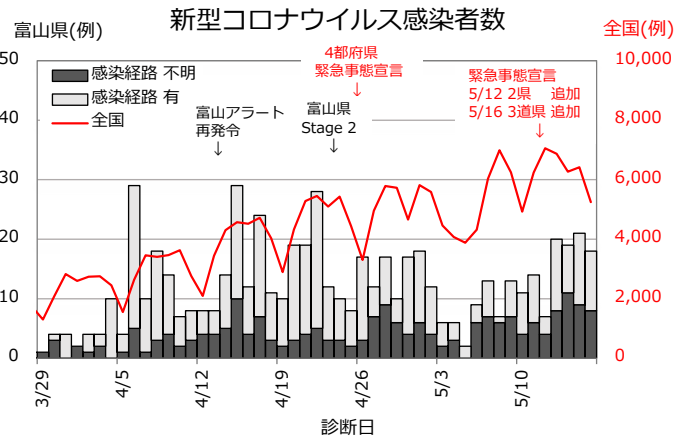
新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 110件
二類感染症 結核 1件(100歳代、女性)
五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 3件(①10歳未満、男性 ②30歳代、男性 ③80歳代、男性)
播種性クリプトコックス症 1件(第18週診断分:80歳代、男性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位7疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	3.45(↑)	1.86
2位	RSウイルス感染症	2.72(↓)	2.93
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.72(↑)	0.52
4位	突発性発しん	0.45(↑)	0.21
5位	咽頭結膜熱	0.41(↑)	0.24
6位	水痘	0.03(→)	0.03
	伝染性紅斑	0.03(↑)	0.00

RSウイルス感染症が例年より増えています! 3歳未満の幼児に多く、症状は発熱、鼻汁。2~3割は気管支炎、肺炎に進展。生後6ヵ月以内、または基礎疾患があると重症化しやすく、注意が必要です。

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <https://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>



○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第19週 令和3年5月10日～令和3年5月16日）

分類	疾患	今週報告分（第19週）							累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	3	5	32	13	57		110	40	107	183	49	542	31	952
二類感染症	結核			1				1	7	3	13	6	15		44
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症										2		1		3
四類感染症	E型肝炎								1				1		2
	つつが虫病								1						1
	レジオネラ症									1	2		1		4
五類感染症	ウイルス性肝炎								1						1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										1	1	1		3
	急性脳炎										1				1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										1		1		2
	後天性免疫不全症候群								1				1		2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1				1
	侵襲性肺炎球菌感染症					3		3	1		1		8		10
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒									1	2		11		14
	播種性クリプトコックス症												1		1
	破傷風										1				1
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										5				5
	RSウイルス感染症	4	6	32	6	31		79	77	55	178	6	514		830
		1.00	2.00	4.00	1.50	3.10		2.72							
	咽頭結膜熱	1	1	6		4		12	18	25	87	1	58		189
		0.25	0.33	0.75		0.40		0.41							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1		12	1	7		21	47	27	383	66	142		665
		0.25		1.50	0.25	0.70		0.72							
	感染性胃腸炎	20	8	12	13	47		100	329	174	245	61	499		1,308
		5.00	2.67	1.50	3.25	4.70		3.45							
	水痘					1		1	1	6	13	4	19		43
						0.10		0.03							
	手足口病								1		5	1	2		9
	伝染性紅斑					1		1		1	5	1	8		15
						0.10		0.03							
	突発性発しん	1	1	5	3	3		13	23	16	68	31	55		193
		0.25	0.33	0.63	0.75	0.30		0.45							
	ヘルパンギーナ								15						15
流行性耳下腺炎								2	2	3	2	2		11	
流行性角結膜炎									1					1	
細菌性髄膜炎												1		1	
無菌性髄膜炎												1		1	
マイコプラズマ肺炎									1	6	1			8	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）								1						1	
インフルエンザによる入院患者（※2）					1		1			1	8			9	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 その他は県外、居住地非公表分です。 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週(8月31日)～の集計です

○感染症発生動向調査報告状況（令和3年4月分）

		4月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症		1	1		8	10		1	5		31	37
			1.00	0.33		2.00	1.00						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	性器ヘルペスウイルス感染症				1	5	6		2	2	1	14	19
					1.00	1.25	0.60						
	尖圭コンジローマ					1	1				1	7	8
						0.25	0.10						
	淋菌感染症	1				1	2	1				3	4
		1.00				0.25	0.20						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	2	2		4	9	4	7	8	2	14	35
		1.00	2.00	2.00		4.00	1.80						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			1			1	2		5			7
				1.00			0.20						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。